



今回は、災害をテーマにしたろう者のスピーチ解説です。内容を確認していきましょう。動画を区切りながら、ゆっくりマイペースで取り組んでくださいね。

- ①地震発生時は大阪にいました。友人からのアドバイスで生活拠点の千葉には戻らず、広島で3月下旬まで過ごします。
 - ・地名は、手の動きだけでなく口形にも注目して読み取りましょう。
 - ・千葉はライフラインの寸断で、日常生活が送れない。アドバイスの内容は…？
実家がある広島での生活を勧められました。
 - ・水道/ばあ/電気/ばあ/全部/ばあ 適した日本語を考えましょう。
- ②息子の入園式(4月7日)が迫り、千葉県浦安市に車で戻ります。
 - ・「入学式/いいえ/入園式」言い間違えです。誌上学習会の動画撮影時、言い間違えると、そこで撮影が止まります。話し手が、「間違えた。やり直し！」と話を止めるからです。今回は、止まることなく自然な雰囲気のままの動画になっています。
- ③震災直後、浦安市は液状化の被害が報道されました。自宅建物は無事だったものの、周辺はひどい状況でした。
 - ・「液状化」とはつきり口形があります。地面から水が噴き出し、大量の水分でぬかるんでいる様子が表現されています。4月初めは、その地面が乾燥して固まっていた。
- ④自宅にたどり着くも、復旧したのは電気のみで水道はまだ使用できない。どうやって生活していくか？トイレはどうしようか？と思ったところ、玄関に届けられた無料の支援物資に救われます。
- ⑤市役所から配給された1か月分の簡易トイレ。袋の中に用を足した後に凝固剤をかけ、袋ごと処分するのです。
 - ・実物を見たことはありますか？調べてみましょう。この動画の内容がより明確に理解できると思います。
 - ・便秘になってしまいました。ここでも「ばあ」が登場します。
- ⑥食事にも不自由します。外食をするか、カセットコンロを使用しての調理でした。食器は紙皿を購入してやりくりする毎日で、疲れてしまいます。
 - ・カセットコンロの形状やポンペをセットする動きをシャドウイングしてみましょう。
 - ・カセットコンロを表現した後に「わかる？」と表現しています。これは「知っていますか？」という質問ではありません。同意の確認です。「カセットコンロ、(あるよね、知っているよね、それ)を利用して調理しました」
- ⑦見かねた友人にさそわれ、家におじゃまして食事を共にすることもありました。やっとライフラインが完全復旧した時に思ったことは…？震源から離れた千葉でさえ生活が大変だったのに、東北の被災地ではもっと大変な思いをされたことでしょう。